

ちよぼら

みんなで楽しく気軽にちよっとずつのボランティア

vol.49

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>



大堰アンサンブルによる
「題名のない音楽会」(5/11)

ボラ連総会後の生演奏。
映画「男はつらいよ」のテーマ「川の流れるように」等々お馴染みの曲に参加されたみなさんも大いに楽しんでいました。



01-フォトギャラリー

大堰アンサンブル「題名のない音楽会」

02-ボランティア連絡協議会の 『ほっこり井戸端サロン』

テーマ: 「里親」について知ろう

03-子どもと本をつなぐ、 おはなしボランティア

04-私のボランティア日記 子ども見守り隊全体研修会報告 ボランティア入門講座のお知らせ

ボランティア連絡協議会の ほっこり井戸端サロン

～お茶を飲みながらみんなで楽しく～



テーマ「里親」について知ろう

大堰アンビシャス広場 矢永美和

今回のサロンは、OHANAの原田三津子さんから子どもたちの現状と里親制度についてお話いただき、つづいて実際に里親をされている方々の体験談をお聴きしました。里親とは、さまざまな理由で自分が生まれた家で暮らすことのできない子どもが、本当の家族と変わらない環境(家庭)の中で生活し成長してける制度のことです。

体験談を夏休み期間のみ里親をされている串間さんと、約15年間里親を経験される、現在も続けていらつしやる平田さんご夫婦より話を伺いました。

里親をするにあたり、家族の理解・同意はもちろんのこと、その他いろいろ大変なことはあるけれど、子どもたちの成長していく姿をみると嬉しくなる。そう笑顔で話される里親の方々に、心がとてもほっこりし、そして私にも何かできることはないのか?と考えさせ

体験談

られました。これからもっと里親についてたくさんの方々に知ってもらえる機会が増えることを願っています。そして、私にとって我が家で里親について話ができたことは、これからの第一歩になったと思います。



よしえ
串間美恵さん
(那珂川市)



みとく
平田美徳さん・レイ子さん
(北野町)

養育里親になるためには

子どもの養育についての理解と愛情をもっている等の要件を満たせば、どなたでも申し込むことができますが、福岡県の養育里親として認定されることが必要です。養育里親の意義を充分理解するために、慈愛会独自の研修を受けていただきます。

Welcome!

養育里親になるまでの流れ



*1: 乳児院、児童養護施設にて
*2: 県が里親としての適否を審査

そのほか、子どもの養育費のこと、里親さんへのサポートのことなど、お気軽にお問い合わせください。

社会福祉法人 慈愛会 OHANA
福岡県里親支援機関 OHANA
TEL0942-77-3388



子どもと本をつなぐ、おはなしボランティア

毎週土曜日、11時から30分間4つのグループ（風の子文庫、お話ほっとたいむ、青い鳥文庫、ナレーションサークル風）が交代でおはなし会をしています。

図書館イベントとして開催されている春の「子どもの読書週間スペシャルおはなし会」夏の「七夕夜のおはなし会」、冬の「クリスマスおはなし会」に協力しています。

各グループがそれぞれ独自の工夫で上演し、子ども達と楽しいひとときを過ごしています。

7/19(土) 七夕夜のお話会

夜という特別な時間を親子で楽しむ、わくわく感満載のひとときです。出し物も、手作りのブラックシアターやちょっぴり怖いお話など、各おはなしボランティアの特徴をいかした出し物で会場は大盛り上がりでした。



おはなしボランティアの声

【風の子文庫】

参加人数が多くうれしかったのですが、会場が狭く見えにくかったのでは…。また、照明の使い方など、もっと工夫がいたと思いました。でも、とても好評でしたよ！

【お話ほっとたいむ】

プログラムの構成がとても良かったと思います。子どもの参加が多く、ざわついていた会場もお話が始まると、みんな静かに聞いてくれました。

7/28(日) 絵本のごちそうバイキング

今年は、特別企画「絵本のごちそうバイキング」に協力しました。

食べ物に関する絵本の中から好きな絵本を選び、シェフにふんしたおはなしボランティアが絵本を子ども達に紹介しました。

おはなしボランティアの声

【青い鳥文庫】

初めてのイベントでどうなるか心配でしたが、来場者が多く、私たちもノリノリで子どもたちに絵本を紹介することができました。

【ナレーションサークル風】

初めての試みでどれくらいの子どもの来場か不安でしたが、フタを開けると沢山の来場で皆さん楽しんで本を選んでいました。

お父さんの参加も多く初めてにして大成功だったと思います。





私のボランティア日記

ステージオペレーター 松本 哲雄

平成5年に大刀洗ドリームセンターの建設に伴い、ホール内の舞台補助ボランティアの募集があり、それに応募したのがきっかけで、音響や照明のお手伝いをするようになりました。それが縁で、本郷のふれあい祭りや他のイベントの音響関係ボランティアも行うようになり、あっという間に四半世紀がたちました。仕事で忙しく、活動のできない時期もありましたが、なんとか現在まで続けることができています。

音響機器の操作の時、急に音が出なくなったり、音楽をかける順番やタイミングを間違えたりと苦勞することも多々ありますが、興味を感じてやり始めたボランティアなのでやりがいもあります。また結

構専門的な知識を要求されるので、神経を使いますが、何事もなく無事終了したときはいつもほっとしています。

今の悩みは、機器のデジタル化でアナログの頭が追いつかないことです。頭を柔らかくして、これからも楽しみながらステージオペレーターとしてのボランティア活動を続けていきたいと思っています。



令和元年度 ボランティア入門講座

出会いは宝! 人と出会う 地域とつながる 心イキキ
自分を豊かにするボランティア

世代を超えた人との出会いや必要とされる喜び・充実感など、その人自身を豊かにするボランティア活動の魅力についてお話をお聴きします。

日時 9月7日(土)
10:00~11:30

場所 大刀洗ドリームセンター
2F 展示ホール

講師紹介

NPO法人ミディエイド
はまなかみ き
理事 濱中美紀 氏



「一人一人が主人公に」をテーマに、市民活動支援を通じた協働のまちづくり、地域福祉活動を推し進めています。はっきり・スッキリ・わかりやすいお話が大変好評です。

ボランティアに興味のある方、これからやってみたい方、中・高校生・学生の方も、お気軽にお越しください!



申込不要
誰でも
気軽に

主催/大刀洗町ボランティアセンター・
大刀洗町ボランティア連絡協議会
問合せ/TEL 77-4877(大刀洗町社会福祉協議会)

スマイル



代表 福村宮生
福村千代美
福田 孝三
宮崎 誠
秋山 裕美



子ども見守り隊 全体研修会に参加して

(西大刀洗) 阿波 静代



今回は「安全・安心まちづくりアドバイザー」の宮田健二氏と小郡警察署交通課長の熊丸貴博氏から、それぞれ貴重なお話をいただきました。

まず宮田氏からは、「犯罪から子どもを守るためには地域・学校が協力する、常に『目配り』『気配り』『心配り』の監視の眼を持つ、挨拶は地域を守る基本である、また、子どもに、先祖から受け継がれている自分の命の重さの大切さに気づかせる」というお話があり、大いに納得しました。

熊丸氏からは、見守りをする時の注意点として、「事前に交通量を調べておくことや、旗はしっかりと振って誘導する、隊員はよく見える位置に立つ」等のアドバイスがありました。

私たちは、子どもの安全に留意し確実に渡すことを心掛け、自らをも守り、そして運転手への感謝も忘れない、そういう気持ちで朝の活動をしたいと思っています。